

令和7年度（2025）

学校教育経営方針

校長 河邊 利夫

教育方針

みんなが「笑顔でこれて、笑顔ですごせて、笑顔でかえれる」学校

学校教育目標

- ・自立 (自ら学び、自ら律する力)
- ・寛容 (相手を広く受け入れ、信じ合う力)
- ・共生 (共に高め合い思いやる力)

育成を目指す資質・能力

- ・自ら進んで学び考え、的確に判断する力。
- ・自分の思いや願いの実現に向けて自分自身を表現する力。
- ・他者の思いや意見を受け入れ共に歩んでいける力。

目指す教職員像（学校教育目標を達成するために）

1. 生徒一人ひとりを徹底的に大切し、より丁寧な教育活動をおこなう。
2. 教職員が互いの役割・責任を意識し、組織としての協働性をさらに高める。
3. 家庭・地域・関係機関等との連携を密にし、本校の教育力向上を目指す。

目指す生徒像

- ・自立⇒自ら学ぶ姿勢を持ち、学校・家庭で学習に取り組む生徒。
- ・寛容⇒自分の考えを持ったうえで、自他ともに受け入れられる生徒。
- ・共生⇒いろいろな考え方の相手と共に高めあえる生徒。

生徒と教職員の大切にして欲しい言葉

「創造」「挑戦」「協働」

令和7年度（2025）研究主題

「すべての生徒に“学び”の喜びを味わわせる」

～「学び」の喜びを味わうことで、次の学びの「意欲」につなげる～

「意欲」を高める取組の推進・生きる力の育成

指導の重点

1. 人権教育を基盤に据えた一人ひとりに心の居場所がある「集団づくり」

→何よりも安心・安全な「学級経営・学級づくり」を基盤とし、学級・生徒会活動を通して生徒たちが自分のクラス・学校を大切に思い、誇りとする「いじめを許さない・見過ごさない集団づくり」を行う。

2. UDLや総合育成支援の視点を活かし確かな学力をつける「授業づくり」

→UDLや総合育成支援の視点を活かし、生徒一人ひとりが抱える課題解決に向け、「自ら課題を見つけ学びに向かう授業づくり」を目指す。また、広い視野と豊かな感性を持ち、より良い人生やウェルビーイングな社会を創造できる子どもを育成する。

3. 自分の将来をたくましく切り拓くための「きわみプロジェクト（探究活動）」

→生徒一人ひとりの中學卒業後における自己実現を図ることを目指し、これから社会に対応できるため探究活動を通して「3学年を見通した系統的なキャリア教育」を行う。

4. 小中9年間の成長を温かく、時に厳しく見守れる学習指導・生徒指導体制

→生徒指導の実践上の4つの視点を意識し、小中9年間を通し、児童生徒一人ひとり成長を温かくも、時には厳しく接し、誰一人取り残さない「小中連携した学習指導・生徒指導体制」を構築する。

5. 保護者・地域の思いを受けとめ、地域ぐるみの教育を推進する

→学校運営協議会（平成30年度設置）を主体とし、保護者や地域に「開かれた学校づくり」を推進する。

6. 働き方改革の推進

→一人一人の教職員を徹底的に大切にする学校組織づくりを通して、子どもも教職員も幸せや生きがい、豊かさを実感できるウェルビーイングな学校風土の醸成を図る。そして、教職員が仕事に熱意と誇りを持ち、達成感・充実感・成長感が得られる組織・職場づくりを目指す。

7. GIGAスクール構想の下、ICTの効果的な活用

→学習活動における生徒の思考や表現の充実。すべての生徒の可能性を広げるという認識の下、生徒が日常的・主体的・効果的な学びを進めることができるよう指導し、教材研究・評価・校務等にICTを活用し、指導力の向上に努める。